

TENRIKYO

「 One World One Family 」

世界中の人間は一つの家族 たすけ合って困難を乗り越えよう

新型コロナウイルスは世界中へ広がり、いつどこで感染するか分からない状況になっています。国内では、感染予防に対応した“新しい生活様式”への変化が求められていますが、それだけでなく、私たちの心のありようも変えていく必要があるでしょう。

マスクをつけ、人との距離をとる、手洗いを励行するなどの対策を継続して、ウイルス感染を広げないようにするためには、なによりも人と人がお互いに思いやり、共にたすけ合っていく“優しい心”が欠かせません。

社会的距離を取っても、心の距離は決して遠ざけない。むしろ心の距離が

より一層近づくように、周囲の人を思いやり、温かい言葉をかけ合うことが、コロナ禍を終息へ向かわせる鍵になると私たちは考えています。

世界中の人間は一つの家族です。
“優しい心”でつながり合って、
困難を乗り越えていきましょう。



世界中が互いにたすけ合って 「陽気ぐらし」が私たちの願い

人間の身体は、親神様からの「借り物」ですが、心は自由につかうことができます。

天理教の教祖は、我が身勝手に自分中心の心づかいをほこり（埃）と教えられました。埃は知らない間に積み、小さなものなら簡単にきれいに払うことができますが、積み重なると、取り除きにくくなるものです。

私たちの心も同じです。心の中にほこりが積み重なると、心は曇って、本来の明るさを失い、「陽気ぐらし」に向かうことができなくなります。

心のほこりを掃除する手がかりとして「八つのほこり」を教えてください。



感情的になって
結果だけを考えず
大きな心で。



謝っている人に対して、
憎しみをぶつけ、
攻撃する。



感謝

今の自分があるのは、
あの時、注意をして
くれた方のおかげ



自分のためを思って
言ってくれる人を、悪く思い、
その人を憎み、根に持つ

「八つのほこり」

をしい ほしい **にくい** かわい
うらみ はらだち よく こうまん

にくいとは・・・

自分のためを思って言ってくれる人に、かえって気を悪くして反感を持ち、あるいは、自分の気に入らない、癪に障ると人を毛嫌いし、陰口を言って、そしり笑うような心。また、銘々の身勝手から夫婦、親子など、身内同士が、いがみ合うのもほこりです。

神様のおかげで
家族が無事に元気に
暮らせています

夫婦・親子など
身内同士で憎み合う



人の悪口や、うわさ
話を陰で言って、
そしり笑う

人の見ていないところでも
喜んで動き、人を褒める

